

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

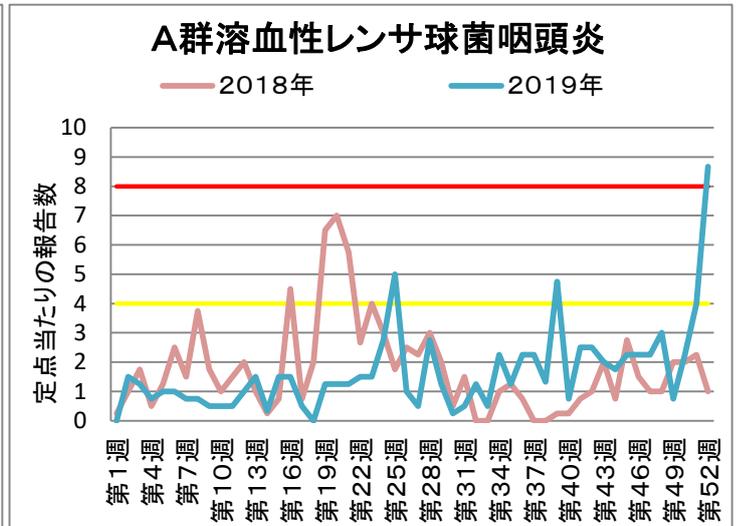
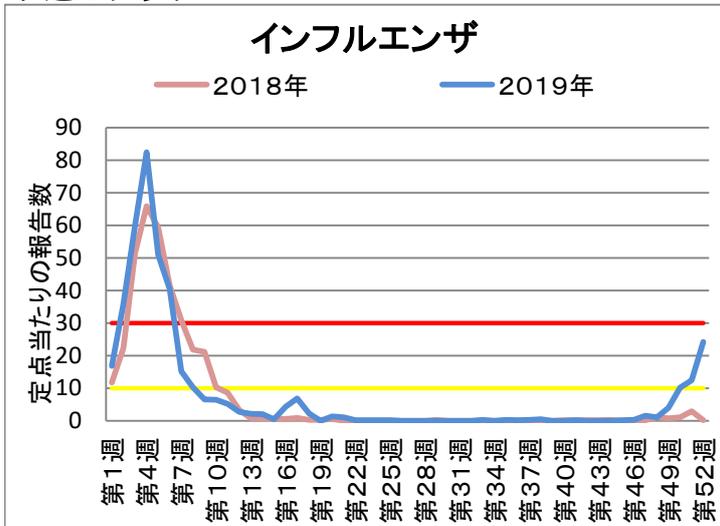
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 52 週 2019年12月23日 ~ 2019年12月29日

今週のコメント

- インフルエンザの報告数は増加を続けています(定点あたり24.20)。外出後の手洗い、人混みを避ける、部屋の湿度を保つ、十分な栄養・睡眠・休養、咳が出る時の咳エチケットなどの対応をお願いします。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加しています(定点あたり8.67)。この菌は乳幼児の咽頭炎、幼児から成人の扁桃炎の原因となることが多く、リウマチ熱や糸球体腎炎を起こすことがあります。潜伏期は2~5日間で、発熱と全身倦怠感、咽頭痛で発症します。感染経路は主に接触感染です。
- 感染性胃腸炎、咽頭結膜熱の報告数も高値のままですので、ご注意ください。
- 急性脳炎、梅毒が各1例報告されました。

今週のグラフ



* — 流行警報基準値です — 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	24.20	伝染性紅斑	0.67
RSウイルス感染症	0.33	突発性発しん	1.67
咽頭結膜熱	2.00	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.67	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	11.33	急性出血性結膜炎	...
水痘	0.67	流行性角結膜炎	...
手足口病	-		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

- * 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
- 小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
- 眼科定点 : 1箇所

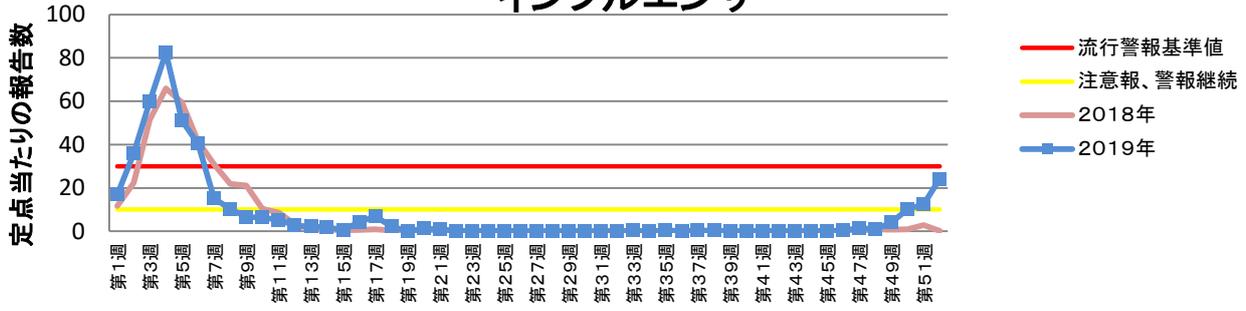
参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

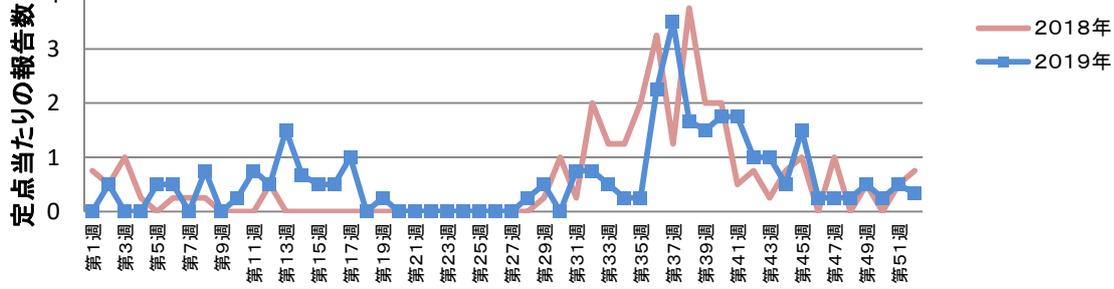
1~4類、5類全数報告疾病
急性脳炎(1人)、梅毒(1人)

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

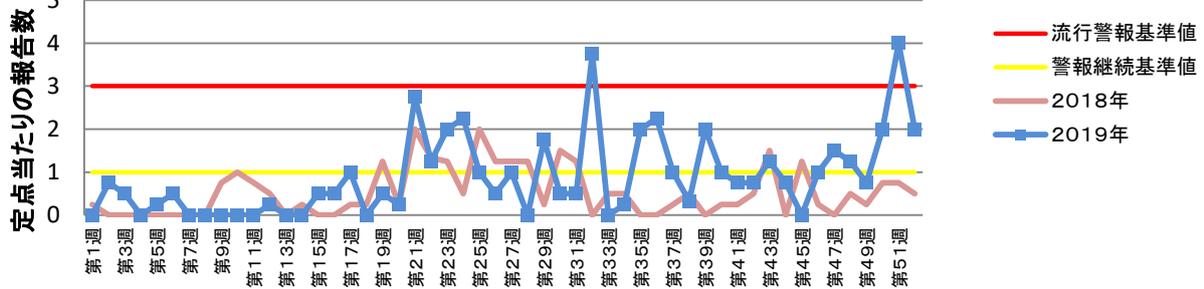
インフルエンザ



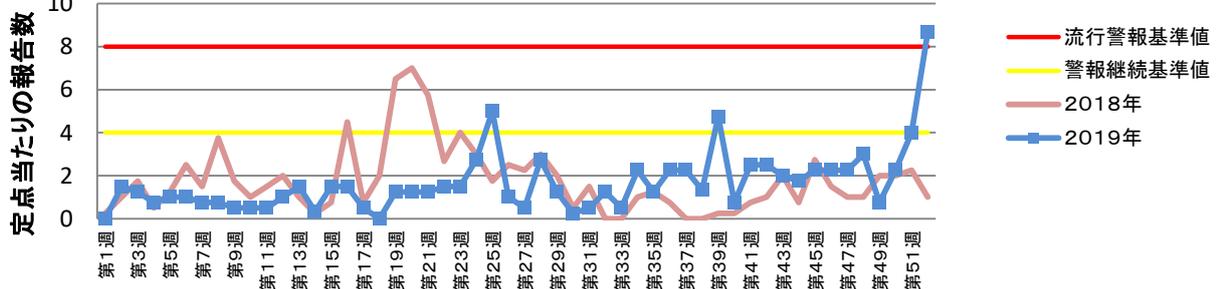
RSウイルス感染症



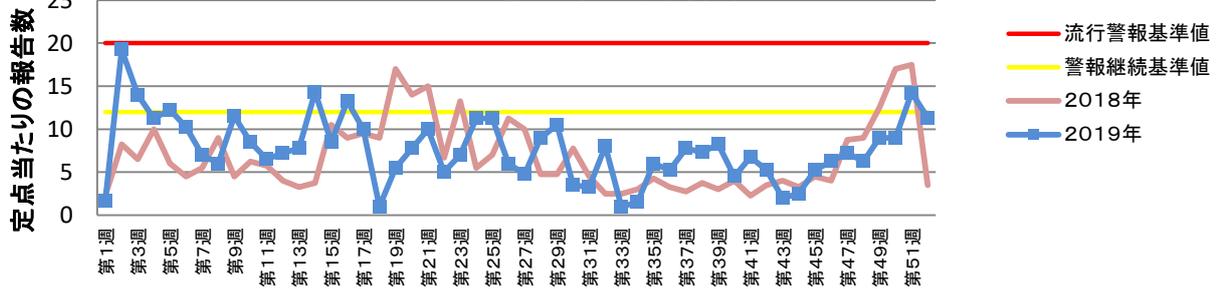
咽頭結膜熱



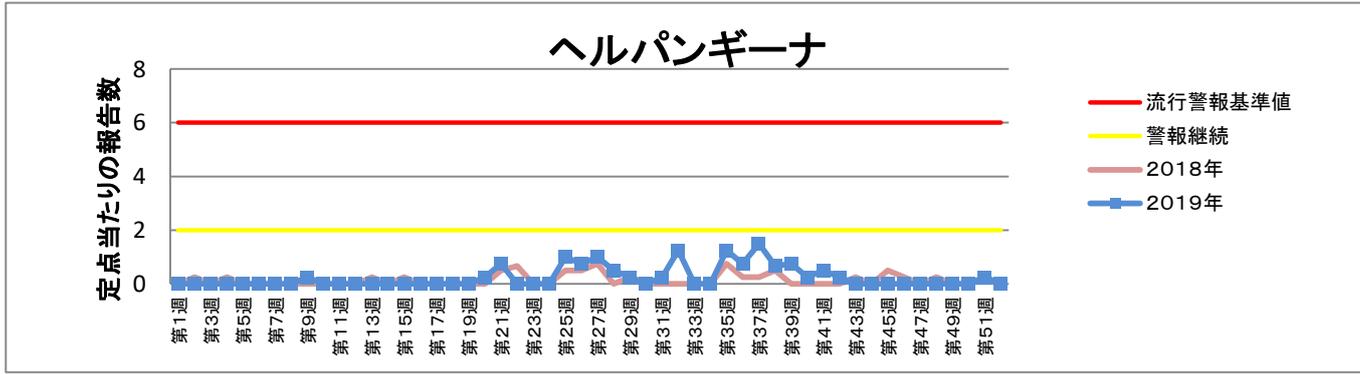
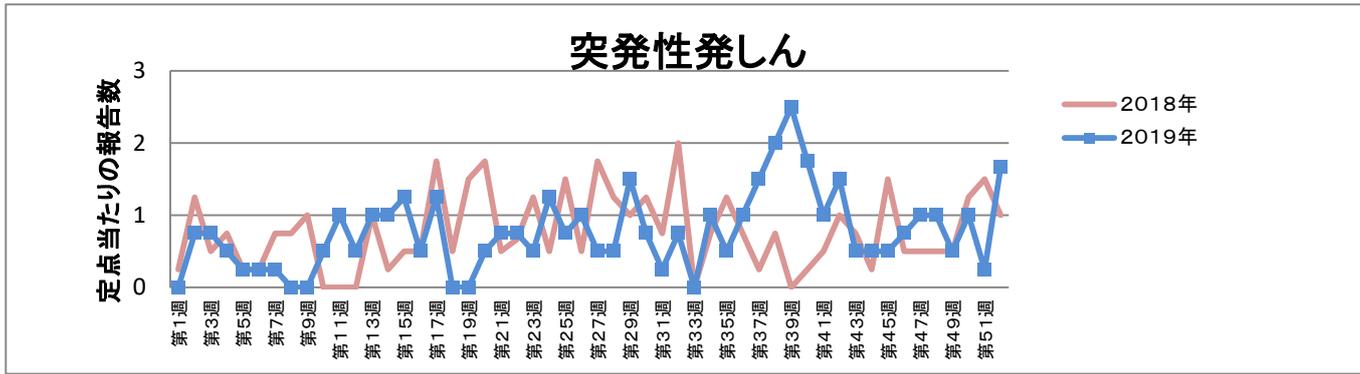
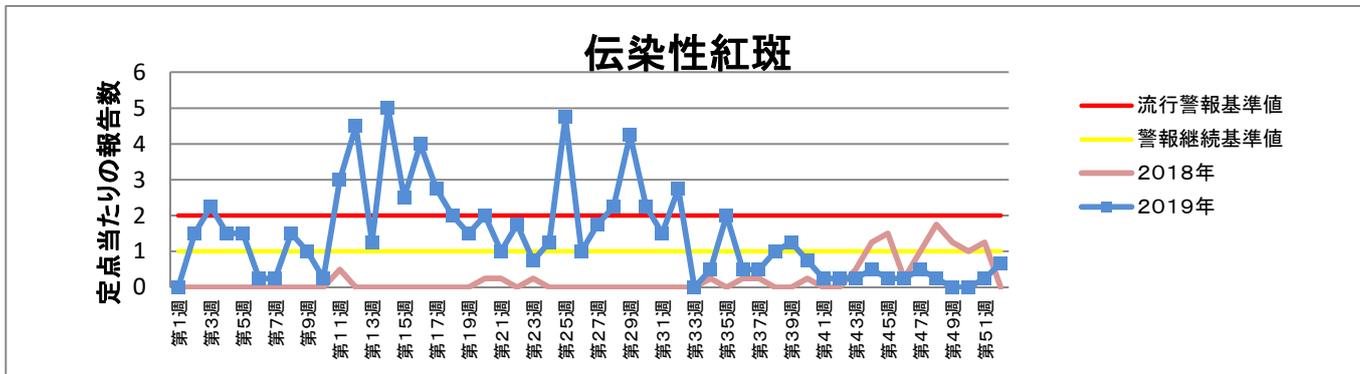
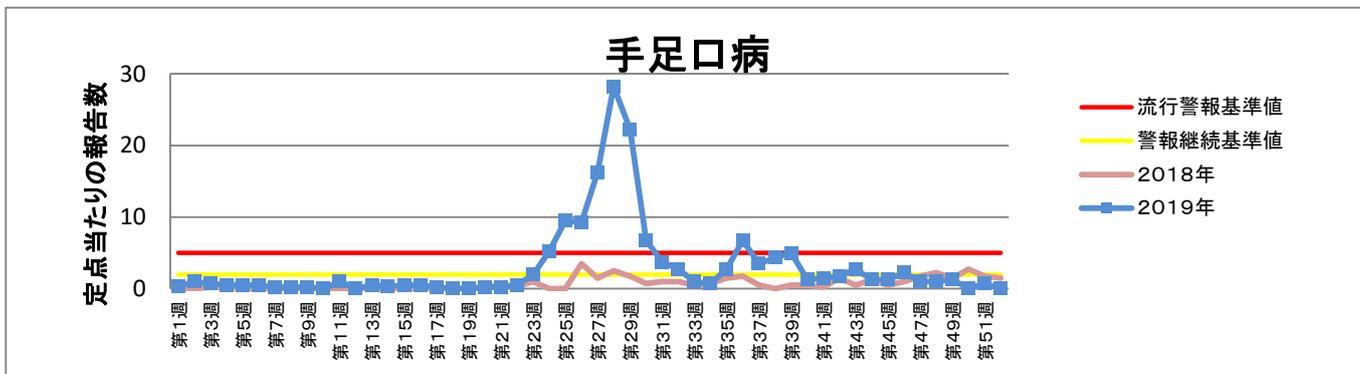
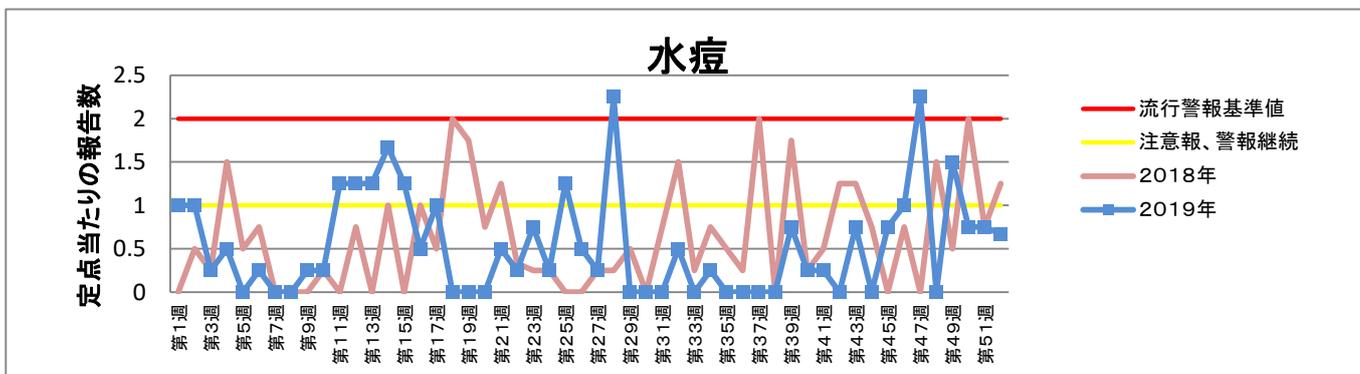
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

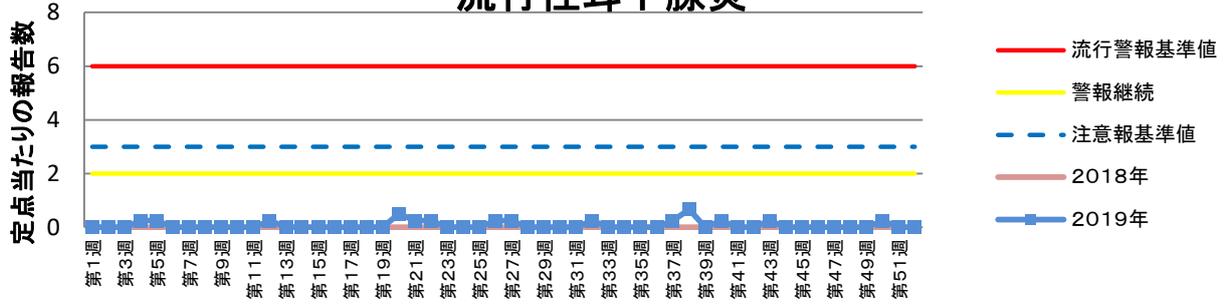


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

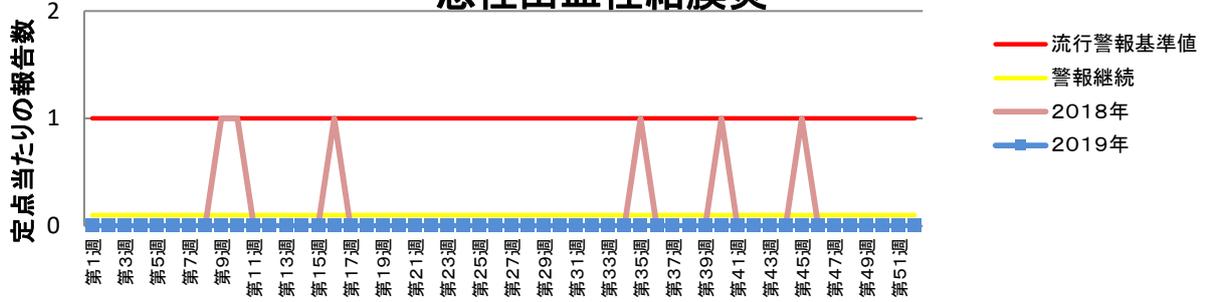


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

